

じどうとしょしつだより



No. 96(2016. 7)

よんでみませんか 児童図書室がえらんだ本

はがめけたよ

安江リエ 作 山口 マオ 絵
福音館書店 2016.3 (資料ID: 1111191907)

ぐらぐらする歯を気にしてばかりいるこうじ。それを見たお父さんは、ライオンの形をしたドアの取っ手と、こうじの歯を糸で結んでぬこうとしました。あわてて逃げ出したこうじが道を歩いていると、ワニがやってきて、ライオンに虫歯をぬいてもらってすっきりしたといいます。次にやってきたネズミもいたくなかったといいます。でも、歯が1本もないコイを見てライオンのことがおそろしくなったこうじ。そこへやってきたのは…

だれかほくをぎゅっとして!

シモーナ・テラオロ 作・絵 おびか ゆうこ 訳
徳間書店 2016.2 (資料ID: 1111183057)

サボタは小さな子どものサボテンです。サボテンやしきで、いっしょにくらすサボテンたちは、いつもきれいに並んでいて、となりのサボテンにくつつくことは、ありませんでした。あいてに近づくのは、なによりも、しつれいなことだからです。でもサボタは、だれかにぎゅっとだきしめてもらいたいと、のそんでいました。サボタは、あたらしいなかまをさがすため、たびに出ることにしました。やさしい色合いの心あたたまる絵本です。

ごはんのじかん

レベッカ・コップ ぶん え おーなり 由子 やく
ポプラ社 2016.2 (資料ID: 1111180144)

「ごはんよー」とママのよぶこえ。でもわたし、おえかきがいそがしいし、まだおなかがすいてないの。でもママのこえが少しこわい。しかたなくいすにすわったら、テーブルの下からおしゃれなワニとおおきなクマとオオカミのぼうやが出てきて、わたしのおひるごはんを、おいしそうにたべてくれた。おかげで、わたしはゆうがたまで、たっぷりあそべることになったのだけど…おなかがぐーぐー大さわぎになってきたの!女の子と動物たちとのやり取りがとっても楽しい絵本です。

かあちゃんえほんよんで

かさい まり 文 北村 裕花 絵
絵本塾出版 2016.1 (資料ID: 1111178020)

けんちゃんは、おとなりのまこちゃんが、毎日ねるときに絵本を読んでもらっていると知りました。自分も読んでもらいたいと思いながら、仕事で忙しそうなかあちゃんを見て、なかなか言い出せません。けんちゃんの誕生日もケーキを買い忘れてしまったかあちゃんですが、プレゼントしてくれたのは3冊の絵本。そしてかあちゃんは「ねるとき よんでやるよ」とけんちゃんに言ったのです。けんちゃんの健気な姿と、かあちゃんの優しさが伝わってきます。

さいごのひみつ

いとう ひろし 作
小学館 2016.4 (資料ID: 1111204308)

ともだちのミリくんは、このまちのひみつをたくさん知っていて、ぼくにこっそりおしえてくれます。にちょうめのかどのいぬは、ぜつめつしたはずのニホンオオカミだとか、さんちょうめのかえるは、まじょのおかしをたべすぎたこどもたちだとか。ぼくらのまちは、ミリくんのおしえてくれる、わくわくするようなひみつでいっぱいです。そしてミリくんは、さいごのとおきのひみつを、ぼくにおしえてくれました。

干したから…

森枝 卓士 写真・文
フレーベル館 2016.3 (資料ID: 1111198031)

かわいてしわしわになったあかいもの。これなーんだ。こたえは「トマト」。太陽の下で干すと、水分がぬけてしわしわになるんですね。ぶどうにしいたけ、大根、めざし、私たちのまわりには、干したものがいろいろあります。日本だけではなく、世界中でいろいろなものが干されて食べられています。カエルやコウモリの干物だってありますよ。でも、どうして干すのでしょうか?干さなくても食べられるのに。干す前と干した後を比べて、そのわけをさぐってみましょう。

うめじいのたんじょうび

かがくい ひろし 作
講談社 2016.1
(資料ID: 1111174085)

おじいちゃんの ゆめのしま

ベンジー・デイヴィス さく
小川 仁央 やく
評論社 2016.2
(資料ID: 1111189800)

やだやだベティ

スティーブ・アントニー 作・絵
平田 明子 訳
鈴木出版 2016.1
(資料ID: 1111173506)

えほん七十二候

はるなつあきふゆ めぐるぐる
白井 明大 作
くぼ あやこ 絵
講談社 2016.3
(資料ID: 1111201511)



あいちけんとしょかん じどうとしょしつ
愛知県図書館 児童図書室